

第1回学校運営協議会が10月8日(火)に入船小学校体育館で開催されました。

<協議会での主な話合いの内容>

- ・今年度も3つの取組「あいさつの取組、基本的な生活習慣の大切さ、子どもの安全の見守り」を柱に運営していく。
- ・地域学校協働本部が設立された。地域学校協働本部は、学校と地域をつなぐ組織である。今年度は、感染症対策があり、学校ボランティアの活動は行うことができていない。状況が落ち着き次第、開始していきたい。
- ・学校が休業期間中は、地域の行事を学校に知らせたり、学校から学校施設の使い方について情報をももらったりしていた。
- ・柱の1つである「早寝、早起き、朝ごはん」の現状はどうか。
→令和2年1月開催の学校保健委員会ですらアンケートによると、約2割程度の児童が朝ごはんを食べていなかった。保護者との連携が必要である。
- ・地域の行事はほとんどできていない。地域も学校も感染症対策を念頭に検討していかなければならない。地域では、行事実施の可否の判断が難しい。方が一、感染してしまった場合の対応が、大変難しい。それは学校も同じだと思う。
- ・保育園としては行事をやりたいが、密を避けることが大変難しい。保育園生は、ディスタンスの取り方もよく分かっていないので、かなり気を遣っている。
- ・中学校では「生徒を褒めてあげよう。」と思っている。子どもたちは、行事がなくなっても、愚痴も言わずにがんばっている。小学校の継続的な学習支援により、中学校の学力が伸びている。